

1. 対象部材  
カーテンレール用ブラケット

略称：CjK ブラケット

2. 標準(共通)化の部位  
標準(共通)化の部位を図1に示す。

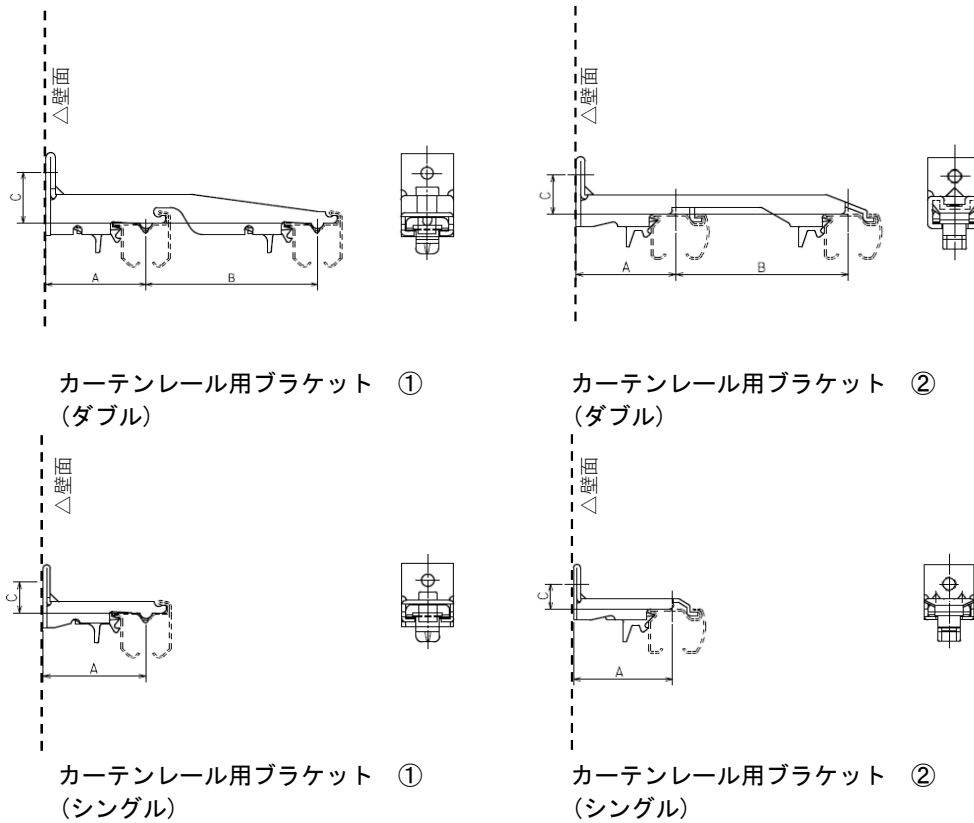


図1－標準(共通)化の部位

- A : 壁面～窓側レール心
- B : 窓側レール心～室内側レール心
- C : ねじ穴心～カーテンレール上端

### 3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法			
	①		②	
	ダブル	シングル	ダブル	シングル
A：壁面～窓側レール心	35.0			
B：窓側レール心～室内側レール心	60.0			
C：ねじ穴心～カーテンレール上端	18.4	10.8	14.0	9.0

①：CjK基準書”118カーテンレール”、”065カーテンレール用ランナー”及び”066カーテンレール用キャップストップ”の①に対応

②：CjK基準書”118カーテンレール”、”065カーテンレール用ランナー”及び”066カーテンレール用キャップストップ”の②に対応

### 4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
または、”CjK”マークを表示する。

### 5. 特記事項

#### 5.1 関連部材の具備すべき条件

使用するカーテンレールは、CjK部材基準書”118カーテンレール”の使用を前提とする。

### 6. 解説

固定ねじはブラケットとセット交換とし、ねじ穴径は任意とする。

### 7. 共通事項

#### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

#### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。